

令和元年（2019年）9月12日
 健康福祉部 保健・疾病対策課 心の健康支援係
 （課長）徳本 史郎 （担当）藤木 秀明、大峽 康裕
 電話：026-235-7109（直通）
 026-232-0111（代表）内線 2663、2643
 F A X：026-235-7170
 E-mail：hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp

日本財団 子どもの生きていくカサポートプロジェクトの協定締結について （2019年9月9日締結）

1 「いのち支える自殺対策プロジェクト」（2016.9～2019.9）の主な取組と成果

（取組）実践：総合相談会、いのち支える市町村キャラバン、人材育成、事例検討会等
 啓発：新聞連載広告、お守り型・ハンカチ型リーフレット等

（成果）○ 計画に基づく全庁的な取組により、本県の自殺者数が減少

（2015年：378人→2018年：314人、（64人減））

○ 市町村支援により、市町村の取組が強化

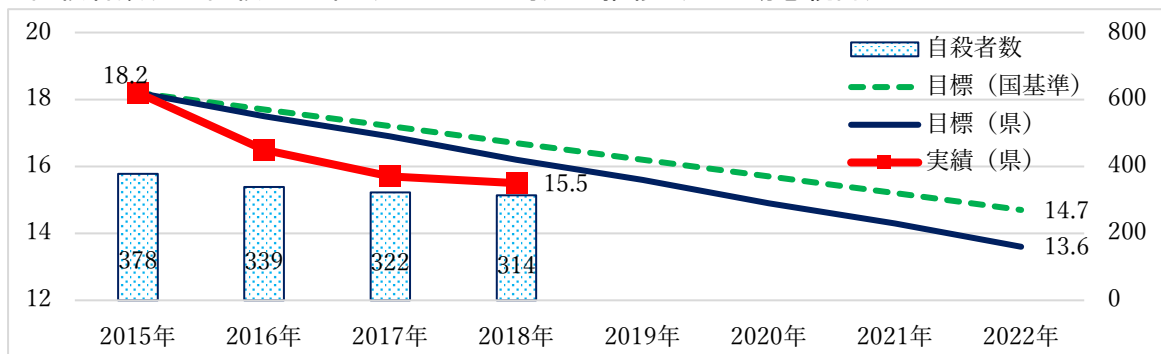
（計画策定済み市町村数 2016年度末：48→2018年度末：61（計画策定率：79.2%））

○ 本県の計画策定の取組が、国策定の「都道府県自殺対策計画策定の手引」に掲載

2 現状と課題

- 自殺死亡率は、目標及び全国平均を上回って着実に減少。
- 一方、未成年者の自殺死亡率は、全国の中で高い水準で危機的な状況が継続。
- 本年3月に策定した「子どもの自殺ゼロ」を目指す戦略を強力に推進する必要。

自殺者数及び自殺死亡率（人口10万対）の推移（人口動態統計）



（目標設定）国：2026年までに2015年比30%減

県：2022年までに過去最低の13.6を達成（国基準2022年：14.7を上回る目標）

未成年者の自殺死亡率（人口動態統計）

2013～2017年の自殺死亡率：全国2.44<長野県3.97（全国2位）

3 「子どもの生きていくカサポートプロジェクト」（2019.9～2022.3）における主な取組

(1) 子どもの自殺危機対応チームの設置による危機介入の強化

全県を対象にハイリスクの子どもを把握し、地域の支援者が対応に行き詰っている困難ケースに対し、多職種の専門家で構成する危機対応チームが、直接支援・助言を行うことで、自殺危機の回避を図る。（2019.10設置）

(2) 地域の支援者を対象とするオンライン相談窓口の設置

地域の支援者が対応に迷ったときに、気軽に専門家からオンラインで助言を受けられる仕組みを構築し、支援者の対応力強化と燃え尽き防止を図る。